

講義名	国際会計論			授業形態	
担当教員	島田 奈美	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

今やビジネスの世界に国際はありません。グローバル・スタンダードへの対応は企業活動にとって大変重要な意味を持っており、ビジネスにおけるコミュニケーション・ツールとしての会計もその潮流に逆らうことはできません。本講義ではグローバル環境下における会計の役割を理解することに主眼をおき、学習を進めていきます。
具体的には、国際財務報告基準（IFRS）を取り上げ、その設立経緯および概要、そしてその適用に関する国際的動向（日本も含める）について説明していきます。

本講義は、経営学科・会計コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。詳細は「卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連」欄をご覧ください。

到達目標

- (1) 会計基準の国際的統一化の経緯と必要性、その理論的課題について理解できるようになる。
- (2) 国際財務報告基準（IFRS）の基本的な考え方が理解できるようになる。
- (3) 日本の会計基準の現状とIFRSとの関係が理解できるようになる。
- (4) IFRSに対する日本の対応についてテーマ別に学習することにより、IFRS特有の考え方を身につけることができるようになる。

上記の到達目標を達成することにより、経営学科・会計コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。

提出課題

字修事項の理解度を把握するために、ほぼ毎回課題があります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題を出した次の回に採点のポイントと内容の解説を行います。

評価の基準

- 中間課題（30％）
期末課題（50％）
講義中の課題（20％）：講義内容の理解度を測ります。

以上の3項目を総合的に最終評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

- ・本講義は簿記や会計の応用科目となります。そのため、会計の基礎科目である「財務会計論Ⅰ」などの講義を履修済みまたは履修中であることが望ましいです。
- ・本講義は財務会計論と同様、専門用語や概念的説明が多く、理解が深い内容となっています。関心が持てる内容かどうかは財務会計論や企業会計入門を履修して確認しておくことをお勧めします。

教科書

・使用しない。

参考図書

・IFRS会計学基本テキスト(第8版)。	橋本尚、山田晋雅	中央経済社	3,960	978450253861
----------------------	----------	-------	-------	--------------

その他

教科書は使用しません。その代わりに、ほぼ毎回、講義中にプリント資料を配布します。講義後にはキャンパスクロスで資料をアップしますが、講義の進捗によってはアップが遅れることがあります。

授業計画

1. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSとは
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
2. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSを学ぶことの意義
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
3. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSの組織構造とデュープロセス
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
4. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSの歴史
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
5. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSの特徴
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
6. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSの特徴（概念フレームワークとは）
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
7. IFRS（国際財務報告基準）の基礎知識：IFRSの特徴（概念フレームワークの構成・内容）
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
8. 公正価値および現在価値の概念
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
9. IFRSに基づく財務諸表
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
10. IFRSの収益の認識基準
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
11. 収益の認識基準（日本基準との比較）
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
12. IFRSにおける棚卸資産の会計
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
13. IFRSにおける有形固定資産の会計
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
14. 有形固定資産の会計（日本基準との比較）
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
15. 全体の総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- 本講義は、以下の学科・コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。
- 経営学科
 (1) 各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。
 会計コース
 (5) 簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析することができる。
 (8) 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識をもとに企業が直面する問題や企業の強みを見出し、経営戦略の構築に貢献することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考